

相談支援に関すること

1 計画相談支援の達成率の推移

		H26.6	H26.9	H26.12	H27.3	H27.6	H27.9	H27.12	H28.3	H28.6	H28.9	H28.12
	障害福祉サービス等受給者数	7,147	7,203	7,247	7,392	7,464	7,567	7,614	7,710	7,785	7,960	8,097
障害者	計画作成済み人数(人)	1,396	1,547	1,697	1,972	2,291	2,655	2,947	3,310	3,473	3,674	4,094
	(うちケアプランによる)					(40)	(103)	(130)	(258)	(249)	(230)	(470)
	セルフ作成数					630	1,584	2,420	3,200	3,446	3,482	3,602
	計画作成達成率	19.5%	21.5%	23.4%	26.7%	30.7%	35.1%	38.7%	42.9%	44.6%	46.2%	50.6%
	障害児通所支援受給者数	1,795	1,367	1,393	1,478	1,547	1,638	1,780	1,744	1,808	1,859	1,944
障害児	計画作成済み人数(人)	472	473	523	656	799	893	937	994	960	1,023	1,047
	セルフ作成数					110	326	511	652	812	808	873
	計画作成達成率	26.3%	34.6%	37.5%	44.4%	51.6%	54.5%	52.6%	57.0%	53.1%	55.0%	53.9%

2 指定特定相談支援事業所の指定状況（平成 29 年 1 月 1 日現在）

指定事業者数 92 か所 4 か所の休止事業所が別にある。

(28 年 4 月 1 日現在 85 か所)

28 年 4 月以降の新規指定 11 か所 廃止 5 か所、

3 28 年度の相談支援をめぐる取組等

1) 相談支援事業所等への技術支援等に関する会議の開催

- ・障害者更生相談所、こころの健康センター、相談支援ネット、相談支援専門員協会及び障害施策推進課が構成メンバー。
- ・相談支援事業所等の質の向上を図るために各機関の行う研修等を効果的に活用できるように、各機関の実施する研修の情報を集約するとともに、質の向上に向けての各機関の役割を考える。
- ・総合相談情報センターに各機関が実施する研修で相談支援事業所の参加できる者の情報を集約し、相談支援事業所に発信する。
- ・研修のほか、今年度は手引書の改訂についても検討。
- ・今年度、6月30日、及び1月16日に実施。

2) 相談支援サポーター事業（平成 28 年度新規事業）

「新任相談支援専門員のための勉強会」として平成 28 年 6 月より実施。おおむね 2 年未満の相談支援専門員を対象に事前登録をした人を対象として、月 1 回、1 時間半の勉強会。

	開催日	テーマ等	参加人数
第 1 回	6 月 14 日	オリエンテーション ◇講演「障害保健福祉施策の歴史と相談支援について～相談支援専門員の役割～」◇今後話したいテーマについて	14 名
第 2 回	7 月 12 日	◇ネットワーク ～事例から考える～	12 名
第 3 回	8 月 23 日	◇ネットワーク～事例から考える②～ ※終了後、希望者に健康福祉プラザ内の見学実施	14 名
第 4 回	9 月 13 日	◇計画相談の基本を見直そう (流れ、作成書類、記録、ファイリング等)	15 名
第 5 回	10 月 11 日	◇計画の立て方 ～事例から考える～	9 名
第 6 回	11 月 22 日	◇事業所の選び方とサービス担当者会議 ～計画案作成から計画作成までの流れ～	8 名
第 7 回	12 月 13 日	◇サービス担当者会議の開催、進め方について	11 名
第 8 回	1 月 24 日	◇モニタリングを考える。	7 名
第 9 回	2 月 14 日	◇モニタリングを考える 2	7 名

3) 計画相談支援手引書の改訂

・28年2月に発行した「手引書」について、相談員がより活用しやすいものとするために、平成29年度当初に発行できるように、意見を聴きながら改訂作業を実施中。昨年度は、協議会に設置した相談支援ワーキングにより意見を聴き作業を進めたが、今年度は、各区にある相談支援事業所連絡会を活用しながら、意見を集約。また、区役所、地域福祉課からの意見収集や、相談支援専門員協会からの意見書を受け内容を検討中。